

# 坂川ひかり

在廊予定：5/27、6/2

少女の夢  
径 20.5×高さ 27cm  
275,000円(税込)

- 1998年 東京生まれ
- 2021年 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科 卒業
- 2023年 石川県立九谷焼技術研修所 本科 卒業  
卒業制作 パーマネントコレクション 入選  
日本新工芸展 第六回学生選抜展 優秀賞
- 2024年 松森美術主催 「暁展KOGEI」 - competition -」入選  
第46回日本新工芸展 本展 初入選  
HACHI-8 鉢展「SHINSEN」 最優秀賞  
現在石川県内に制作活動中



深い藍色の夜の世界を旅しているようなイメージで、「夢見紋」と称し表現しています。じっくり見てもらえる事で何か新しい発見があるかもしれません。

# 針谷絹代

在廊予定：5/27-6/2

ドライフラワー赤壺蒔絵  
黒蝶貝ブローチ  
縦 6.5×横 3.5×厚み0.3cm  
110,000円(税込)

- 1994年 テーブルウェアフェスティバル 東京ドーム  
オリジナルデザイン部門 大賞
- 1997年 国際根付ソサエティハワイ大会 新人賞
- 2019年 第22回日本伝統工芸士会 作品展  
最高賞 祭議院議長賞
- 2022年 高円宮殿下二十年式年祭記念 根付  
- 高円宮根付コレクション - 展示  
G7広島サミット「日本の魅力」篇に出演  
総理の前で蒔絵実演を行う
- 2025年 三井ゴールデン匠賞 奨励賞



日本独自に発展した蒔絵技法は世界を魅了する素晴らしい伝統工芸です。その蒔絵技法を美術品としてだけでなく、もっと身近に、日々の暮らしや装いに華を添えるような作品作りを心掛けております。細描蒔絵と名付けた、大変細かく何度も筆を重ねるを繰り返した蒔絵作品です。花々の繊細な表情を蒔絵で表現するには大変な時間を要しましたが、他にはない蒔絵作品に仕上がりました。お手にとってご覧いただけたら嬉しいです。

# 中谷まこ

在廊予定：5/27、5/28

実演 5/28

- 2021年 石川県立九谷焼技術研修所 卒業
- 2023年 第46回伝統九谷焼工芸展 新人賞
- 2024年 第71回日本伝統工芸展 入選

蝶々と空模様  
径 6×高さ 6.5cm  
52,800円(税込)



濃淡やグラデーションの表現を用いながら、古くから親しまれている文様や絵柄を用いて制作しています。水分の調節による絵具の濃淡や、点描で表現する柔らかい印象も好きな為、絵具の赤色から磁器の白色へ、グラデーションで濃淡が移り変わる心地よさをどのようにしたら出来るかを意識して制作をしています。また、実際に使用する時の動作によって、絵柄に時系列が生じ、小さな物語性がうまれるような構成も模索出来たらと思っています。

# 蚕田カノン

在廊予定：5/27、5/31、6/2

- 2025年 石川県立九谷焼技術研修所本科 卒業  
"丸善・新世代の息吹" 能美市公募展 優秀賞「庄三賞」
- 2026年 石川県立九谷焼技術研修所研究所 卒業  
別世界古美術館「カノン堂」開業



南無妙法蓮華杖  
縦 37×横 9.5×高さ 4cm  
110,000円(税込)

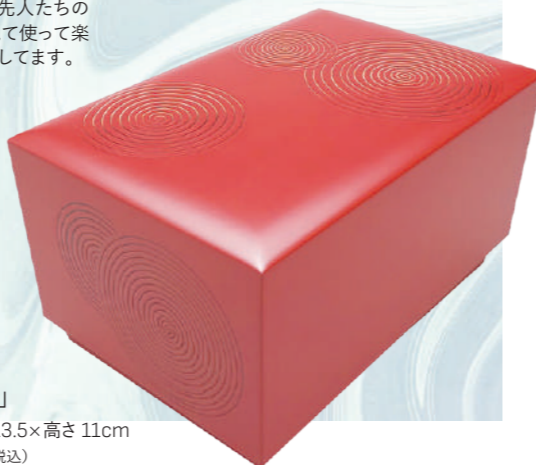
深い海の底や雲上の極楽など、此処ではない何処かの世界が身近に感じられるような、細部までこだわり抜いた造形物をお届けします。モノの向こうにある物語まで楽しんでいただければと思います。

# 清水一人

在廊予定：5/27-6/2

- 1993年 石川県立輪島漆芸研究所 専修科 卒業
- 1996年 石川県立輪島漆芸研究所 普通科 卒業
- 2003年 第24回日本伝統漆芸展 入選
- 2006年 伝統工芸士の認定  
第47回石川の伝統工芸展 入選
- 2020年 第45回全国伝統工芸の公募展  
経済産業大臣賞 受賞

山中塗の良さをいかし、塗り塗などの先人たちの技法を使い見て使って楽しい器を製作しています。



漆箱「旋渦」  
縦 20.5×横 13.5×高さ 11cm  
825,000円(税込)

黄磁釉 寸胴花瓶 (削ぎ)  
径 13.5×高さ 22.5cm  
220,000円(税込)

# 山本篤

在廊予定：5/27-6/2

オーダー可

- 1990年 兄の山本長左と共に天皇 皇后 両陛下の御紋入器を制作  
以来、「宴室の儀」での使用食器等、宮内庁より様々な依頼を受け制作に臨む
- 2017年 平成29年度全国伝統的工芸品公募展  
内閣総理大臣賞 受賞
- 2019年 宮内庁より依頼を受け、  
天皇 皇后 両陛下御紋入器を制作
- 2020年 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用器を制作
- 2021年 日本伝統工芸士会 副会長就任
- 2025年 令和7年春の叙勲 瑞宝章 受賞



素地は一点ずつ、ロクロによる手挽きで作り上げています。黄磁釉は古来、中国の王朝などで珍重されたギョク(勾玉)色の釉薬です。長年研究を重ね、九谷焼の磁胎に使われる地元の花坂陶石を釉薬にも使用することで、貫入や気泡の入らない透明感のある黄緑色を現代に再現しました。

# 宮本直樹

在廊予定：5/27-6/2

実演 オーダー可

- 日本陶彫会会員 九谷焼伝統工芸士
- 1944年 石川県小松市に生まれる
- 1964年 朝倉彫塑塾入門
- 1967年 日彫展 入選 受賞  
日展(彫塑部門) 入選  
以降8回入選
- 1994年 九谷焼伝統工芸士に認定される
- 2024年 能美市九谷焼美術館  
五彩館にて九谷の陶彫展  
「宮本直樹」を開催  
陶彫彫刻(陶彫)  
九谷粘土を用いての  
彫刻作品の制作

陶彫「象」香炉  
縦 18×横 9×高さ 20.5cm  
253,000円(税込)



私たちの風土の中で受け継がれ育まれてきた九谷の陶彫彫刻の流れをふまえ、手によって造り出される作品が最も「暖かく潤いのあるやきもの」とを念じつつ創っております。

# 山本芳岳

在廊予定：5/31、6/2

オーダー可

- 1982年 九谷工芸高等訓練校  
ロクロ成形 卒業  
相上芳景先生師事
- 1985年 師の門を辞して  
(株)加賀陶苑入社  
通商産業大臣認定  
伝統工芸士
- 2006年 (株)加賀陶苑代表就任

私は、九谷焼の数ある技法の中で江戸後期から明治にかけて完成された赤絵細密画に引かれ、この道に入りました。この大切な技法を後世に残すため、また日本人の心の中にある神話やおとぎ話を題材に日本人しか描かないものを残していきたいと思っています。



色絵鴨香合 (雄)  
縦 8×横 5.8×高さ 4.5cm  
雄・雌 各132,000円(税込)

# 仲田錦玉

在廊予定：5/31、6/2



白馬「息吹」  
径 27×高さ 24cm  
495,000円(税込)

九谷焼の伝統的な技法である盛金技法と青粒・白粒技法。私はこの二つの技法を用い作品を制作しています。一つ目の盛金技法とは、文様部分をベンガラなどで盛り上げて絵付けし、その上から金泥を載せて焼成する技法。使われる金泥は金沢箔を掌で擦り込む「金けし」という伝統技法によるものです。二つ目の青粒・白粒技法とは、イチンという円錐形の道具を使い、一粒一粒青絵具・白絵具を盛り上げて置いていく点描技法で、以前はどちらとも九谷焼上絵付の脇役として使用されていました。令和の時代になり、プラチナ盛技法と盛金技法を組み合わせることにより、モダンな雰囲気のある作品を新たに制作。また、全体を白盛絵具による上絵付で表現することで幽玄さを醸し出す白彩画風を創作しました。

- 2019年 第22回日本伝統工芸士会作品展にて  
一関市長賞 受賞
- 2022年 第45回伝統九谷焼工芸展にて  
北國新聞社賞 受賞
- 2023年 第70回日本伝統工芸展にて  
白金盛白粒香合「薫風」入選  
金沢城兼六園大茶会  
第27回工芸品公募展にて  
(財)県美術文化協会理事長賞 受賞
- 2024年 九谷焼伝統工芸士会副会長となる
- 2025年 第50回雅風展での  
第20回現代小鉢作家展にて新人賞 受賞

〔主催〕丸善日本橋店展示会運営委員会  
〔協賛〕小松九谷工芸協同組合、九谷上絵協同組合、加賀九谷陶磁器協同組合、九谷焼伝統工芸士会

〔後援〕北國新聞社、石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会

〔日本橋店〕  
3階ギャラリー  
特設会場  
スパインスペース

# 丸善 九谷焼展

先人たちの英知を受け継ぎ、進化しつづける九谷焼

【会期】  
2026年 5月27日(水) - 6月2日(火)  
※最終日は15時閉場

作品購入については、抽選になる場合があります。  
詳しくは5月==日(=)以降、丸善ホームページをご覧ください。

## MARUZEN 日本橋店

〒103-8245 東京都中央区日本橋2-3-10  
TEL 03-6214-2001 FAX 03-6214-2002 【営業時間】9:30-20:30  
※営業時間・展示内容は変更となる場合があります。  
最新情報はHP(honto.jp)をご確認くださいませようお願いします。

# 山本高寛

オーダー可

在廊予定：5/30-6/2



- 2018年 平成30年度石川県伝統産業優秀技術者奨励者表彰 受賞
- 2019年 宮内庁より依頼を受け 天皇 皇后 両陛下御紋入器を制作
- 2020年 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用器を制作
- 2022年 第45回伝統九谷焼工芸展 技術賞 受賞  
第24回日本伝統工芸士会作品展 秋田市長賞 受賞

陶石・釉薬を必ず地元産とし、古くから続く伝統技法のひとつである型打ちを用いて、手作りに拘り創作することを志しています。

葡萄彫青白花瓶

径 16.5×高さ 24.0cm  
264,000円(税込)

# 山本浩二

オーダー可

在廊予定：5/27-5/30

加賀聖釉金彩八割急須  
縦 9×横 13.7×高さ 11cm  
49,500円(税込)



形にこだわり手の込んだ仕事。一つ一つに心を込めて作ること心掛けています。

- 2008年 京都府立 陶工高等技術専門校 図案科 卒業
- 2009年 宮吉製陶所 北河道雄氏に師事
- 2010年 九谷焼窯元 加賀陶苑入社
- 2016年 伝統九谷焼工芸展 奨励賞
- 2022年 伝統工芸士認定

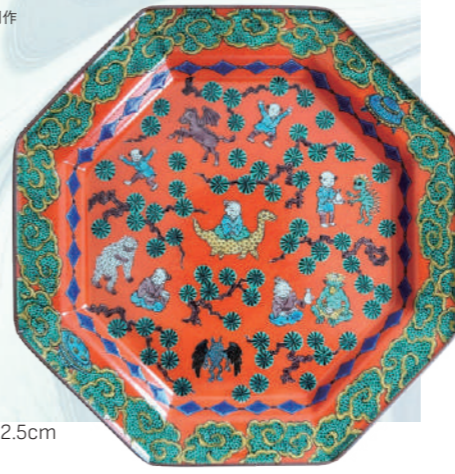
# 伊藤由紀子

在廊予定：5/28、6/2

- 神奈川県横浜生まれ
- 2001年 女子美術大学工芸陶専攻 卒業  
陶彫刻家 藤田昭子氏 師事
- 2002年~2010年 (財)金津創作の森財団 創作工房 勤務
- 2012年 九谷焼技術研修所 本科 修了  
錦山窯(人間国宝 吉田美統)勤務
- 2018年 独立  
現在は横浜にて制作

伝統九谷の絵付け技法に現代的なモチーフを掛け合わせた「温故知新な九谷焼」をテーマに、青九谷や木米風など古典様式を用いて、多様かつ面白みのある作品を目指しています。九谷と未知との遭遇をお楽しみいただけたら嬉しいです。

UMAとゆかいな木米九谷 八角皿  
縦 18.5×横 18.5×高さ 2.5cm  
30,800円(税込)



# 早助千晴

在廊予定：5/27

星華 ランプシェード  
径 13×高さ 13cm(金具含め)  
220,000円(税込)



九谷五彩の一つ「紺青」を必ず用い、色の深みと余白の緊張を大切にしています。凛と張り詰めた空気と静謐な気配を宿し、ひとつひとつの星が調和して咲く華のように、見る人の心にやさしい輝きが広がれば幸いです。

- 1989年 兵庫県西宮市生まれ
- 2013年 同志社大学神学部神学科 卒業
- 2018年 京都伝統工芸大学校 陶芸科 卒業  
中村陶志人氏に師事
- 2019年 第14回能美市美術展 大賞
- 2025年 石川県伝統産業技術奨励賞

# 井上雅子

在廊予定：5/27

- 2013年 九谷焼伝統工芸士認定
- 2019年 第58回日本現代工芸美術展 現代工芸賞
- 2021年 Collect art fair - Collect2021 - 「刻む」展 (能美市九谷焼美術館) 四季折々の情景 (ヤマザキマザック美術館)
- 2022年 第60回日本現代工芸美術展 本会員賞

動植物を黒色をベースとした上絵掻き落し技法によって表現。

龍

縦 8×横 8.5×高さ 45cm  
220,000円(税込)

# 山本秀平

実演

5/30-6/2

オーダー可

在廊予定：5/30-6/2



白磁描割鳳凰図飾瓶

幅 13.5×高さ 23.9cm  
418,000円(税込)

九谷焼伝統赤絵細描の技法を継承し、特に器全体を赤絵の細描で埋め、少し金彩や色彩を挿す、明治の赤絵名工と言われる中村秋塘の硃質手を元に生み出した技法を白磁描割と名付け助めています。

- 2009年 京都府立陶工高等技術専門校 図案科 卒業
- 2010年 九谷焼窯元(株)加賀陶苑入社 山本芳岳に師事
- 2013年 第36回伝統九谷焼工芸展 新人賞
- 2015年 第38回伝統九谷焼工芸展 技術賞
- 2018年 第41回伝統九谷焼工芸展 技術賞
- 2022年 伝統工芸士認定

# 守り犬

縦 7.5×横 11.5×高さ 12.5cm  
16,500円(税込)



# 宮本知己

- 石川県小松市八幡生まれ
- 九谷焼技術研修所本科 卒業
- 九谷焼技術研修所研究科 卒業
- 九谷焼伝統工芸士(成形部門)
- 九谷焼技術研修所講師 父 直樹に師事

陶磁彫刻の技法を学びながら、「永く可愛がっていただけるもの」を目標に制作しています。伝統の技法を受け継ぐことと、その中で自分なりの表現をすることを目指しています。

# 吉田純鼓

- 2014年 石川県立九谷焼技術研修所 卒業
- 2019年 石川県デザイン展 金沢漆器商工業協同組合理事賞 受賞
- 2024年 石川県伝統産業技術奨励者表彰ほか その他、県内外のデパートやギャラリー・美術館等にて展示出品、大阪・関西万博「LOCAL JAPAN展」陶板制作等



赤絵 玉盃

径 5.7×高さ 6.6cm  
77,000円(税込)

九谷焼の伝統絵付け技法のひとつである赤絵細描を主に、色を使うことも好きなので、和絵具や洋絵具の色も組み合わせ、赤絵と色が溶け込むような作品を目指し制作しております。

# 川上真子

在廊予定：5/28、5/29、6/1、6/2

- 2012年 石川県立九谷焼技術研修所本科 卒業 山本長左氏に師事
- 2016年 独立 染付を中心とした絵付磁器を制作

染付ならではの透明感とやさしい色合いを大事に、使ってくださいの方が絵の中で遊べるような、余白のある表現を志しています。



花唐草 玉盃

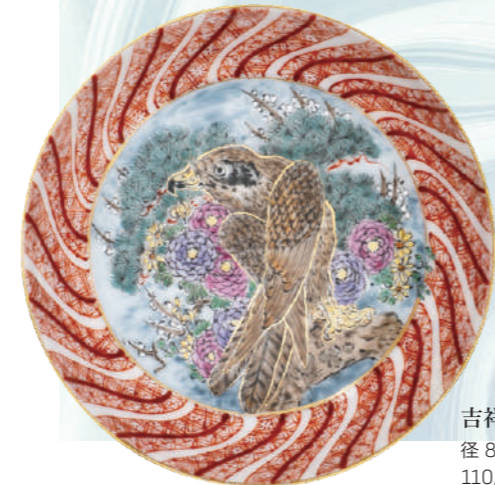
径 6×高さ 6cm  
24,200円(税込)

# 野上映翠

在廊予定：6/1、6/2

- 京都伝統工芸専門学校卒業後、山本長左に師事
- 2005年 独立
- 2009年~2019年 カルチャーセンターで講師を務める 現在、色絵細描を主に作陶を続けています

今回は九谷焼っぽさも残しつつ、ちょっとリアルな描き方に挑戦してみました。小紋柄などの連続紋様などの組み合わせのバランスに気を付けて描いてみました。



吉祥鷹図薄平盃

径 8×高さ 3cm  
110,000円(税込)

# 仲川 瑤

在廊予定：5/27

Vase - patchwork -  
径 約10.8×高さ 16.8cm  
55,000円(税込)

- 2014年 石川県立九谷焼技術研修所 研究科 卒業
- 2017年 第44回石川県デザイン展 工芸デザイン部門 公益財団法人 石川県デザインセンター 理事長賞 受賞
- 2021年 石川県立九谷焼技術研修所 実習科進修コース 修了 一級陶磁器製造技能士(上絵付け作業) 資格取得 (所轄・主催：厚生労働省)
- 2024年 職業訓練指導員(陶磁器科) 免許取得 現在、石川県金沢市で 作品制作を行う

違う色の磁器土を混ぜ合わせ、貼り合わせたり、削ったりして偶然出会う模様、色の組み合わせを楽しみながら制作しています。



- 2012年 糸井康博氏の指導を受け陶芸の道へ
- 2017年 京都府立陶工高等技術専門校 卒業 石川県に移住 九谷焼事業所に4年間従事 現在、中村陶志人氏に師事。 石川県にて制作活動中

# 河本真詩

在廊予定：5/30、5/31

古典でありながら現代の風景を織り交ぜたものや、ポップでありながらも九谷焼の色を感じるようなデザインになるように心がけて制作しています。

sansui回遊

径 12.5×高さ 11.5cm  
132,000円(税込)

